

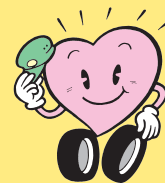
福岡県

Fukuoka Prefecture
Transportation
Information
No.1874

輸送 情報

2022.12/9

福岡県輸送情報 No.1874
(毎月2回 第2・第4金曜日 発行)
購読料:1ヶ月200円



公益社団法人 福岡県トラック協会



北九州国際友好記念図書館 (旧態城門司港旧郷町)

No.1874 今号のTOP NEWS!

TOP NEWS 1 公明党議員へ要望活動を実施

TOP NEWS 2 「引越基本講習」及び「引越管理者講習」開催状況

TOP NEWS 3 福岡県トラック青年協議会及び
長崎県トラック協会青年部「新成会」合同研修会 開催状況



福岡県輸送情報

Fukuoka Prefecture Transportation Information No.1874

1874号・令和4年12月9日発行

C O N T E N T S

- TopNews1 公明党議員へ要望活動を実施 1
- TopNews2 「引越基本講習」及び「引越管理者講習」開催状況 2
- TopNews3 福岡県トラック青年協議会及び
長崎県トラック協会青年部「新成会」合同研修会 開催状況 3
- TOPICS 北九州市主催「北九州ゆめみらいワーク2022」が開催されました 4
- 委員会レポート（交通対策） 4
- 年末年始の交通安全運動実施要領について 5
- 冬季における転倒災害防止対策の推進について 6
- 福岡県トラック協会独自「リクルートサイト」掲載受付終了のお知らせ 6～7
- 「年末年始の輸送等に関する安全総点検」の実施について 8
- 環境優良車普及機構（LEVO）からのお知らせ 9
- (公社)全日本トラック協会・(公社)福岡県トラック協会 令和4年度 陸運事業者のための安全マネジメント研修
～運輸安全マネジメントと労働安全衛生マネジメントシステムの一体化による効果的な運用～のご案内 10
- (公社)全日本トラック協会・(公社)福岡県トラック協会「標準的な運賃」活用セミナーのご案内 11
- 第119回 トラック運送業界の景況感（速報）令和4年7月～9月期 12～15
- 2023年1月4日より車検証が電子化されます 16～17
- 大分県RORO船利用促進セミナーの開催について 18
- 会員だより「新規会員のご紹介」 18
- 行事日程 18

(公社) 福岡県トラック協会
LINE 公式アカウント

～トラック協会の最新情報を随時受信できます～

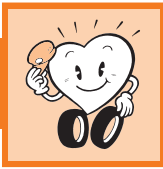
友だち募集中

@230tcqiw

LINEの「友だち追加」から、
ID検索するかQRコードを
スキャンしてください



TOP



NEWS-1

公明党議員へ要望活動を実施

福岡県トラック事業政治連盟(眞鍋博俊会長)は、11月20日(日)午後3時から、福岡市博多区の福岡県中小企業振興センターにおいて、公明党の石井啓一党幹事長(衆)、秋野公造財務副大臣(参)をはじめとする国会議員、福岡県議会議員と政策要望懇談会を開催し、喫緊の政策課題として、下記の7項目について要望を行いました。

懇談会は、冒頭、眞鍋会長からコロナ禍に加えて、軽油高騰の影響が深刻化する中においても、物流を停滞させることなく、総力を挙げて対応していること等の業界の現状を説明し、このような状況下における喫緊の要望事項について理解と協力を求めました。

引き続き、西専務理事から各要望事項について説明を行った後、石井党幹事長から「業界は、燃料価格高騰、人材確保、残業時間の制限など、厳しい局面にあると認識している」としたうえで、「とりわけ北九州下関道路については、既存の関門トンネルや、関門橋の物流のバイパスとして早期着工を推進する」旨が表明された。また、秋野財務副大臣から「時限立法である標準的な運賃の告示については、政府として期限の延長などを研究する」等の回答が得られました。

【要望活動】

- ① 燃料価格高騰の軽減に資する補助制度の創設に関する要望
- ② 適正な運賃・料金を収受するための環境整備に関する要望
- ③ 本州と九州の経済活動を支える北九州下関道路が橋梁の場合における重量物輸送に関する要望
- ④ 物流に配慮した高速道路料金の確立に関する要望
- ⑤ 福岡・北九州高速道路の料金体系等の見直しに関する要望
- ⑥ 改善基準告示の柔軟な運用に関する要望
- ⑦ 民間団体等が運営する地域防災・災害対策関連施設整備に関する要望(不動産取得税、固定資産税の減免)



【懇談会開催状況】

【懇談会出席者】

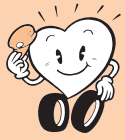
《公明党議員》

石井啓一党幹事長(衆)、秋野公造財務副大臣(参)、下野六太参議院議員、吉田久美子衆議院議員、西尾耕治福岡県議会議員、二宮眞盛福岡県議会議員、浜崎達也福岡県議会議員、新開昌彦福岡県議会議員、宮崎吉弘筑紫野市議会議員

《陳情団》

眞鍋博俊会長、三村彰一副会長、中嶋利文副会長、二又茂明副会長、日向祥剛副会長、西正博専務理事

TOP



NEWS-2

「引越基本講習」及び「引越管理者講習」開催状況

全日本トラック協会は、福岡県トラック総合会館において11月15日(火)に「引越基本講習」を、16日(水)に「引越管理者講習」を開催しました。1日目の基本講習には15名、2日目の管理者講習には37名が参加しました。



【基本講習】

1日目の引越基本講習では、全日本トラック協会認定講師の丸田俊二氏が、(1)引越業界の現状について(2)引越の下見・見積の知識とクレーム対応(3)引越作業と接客マナー(4)引越運賃・料金(5)標準引越運送約款等の知識について解説し、最後には修了テストが行われました。

講習の冒頭では、本講習は引越事業者優良認定制度の取得のために受講が必要なものであることや、引越事業者優良認定制度(通称:引越安心マーク)が①安全・安心な事業者の見える化②引越業界全体のコンプライアンスの向上③引越における苦情やトラブルの防止を目的に、平成26年度に創設されたことなどが説明されました。

続いて、引越業界の現状について解説が行われ、トラック運輸事業の現状についても触れつつ、昨年の主要都道府県における転入・転出数や福岡県の移動者数などのデータを示し、単身世帯の引越が引き続き増加傾向にあるとの説明がありました。また、引越業者を探した方法や決めた理由、キャンセルした理由などのアンケート結果が提示され、価格の安さがいずれも影響していることを踏まえ、極端な割引は法に抵触する可能性があるなどの注意点が伝えられました。

引越の下見・見積の知識とクレーム対応、引越作業と接客マナーについてはDVDを視聴しながら、引越の基本的な流れと各作業でのポイントを学びました。

午後からは、引越運賃・料金、標準引越運送約款等について講習が行われ、約款は見積時にお客様に提示することが義務付けられていること、荷物受け取りの3日前までに見積書に記載している内容の変更の有無について確認を取らなければならないことなど、重要な点について説明がありました。また、繁忙期のレンタカー使用に係わる要件や廃棄物の取扱い、並びに消費者契約法等、各種関連法令についても解説されました。

【管理者講習】

2日目の引越管理者講習も引き続き丸田俊二氏が講師を担当し、午前中は(1)「標準引越運送約款」等について講習が行われました。

はじめに、引越に係る輸送相談(全ト協に寄せられた輸送相談)について解説があり、21年度は20年度に比べて相談件数が大幅に増加したことや、破損や対応不満に加え、作業時のコロナウイルス感染症の予防対策についての相談も多く見られたことなどが示されました。丸田氏は「20年はコロナの影響で引越件数もかなり減っていた。その反動か昨年は引越自体も増え、そのため相談件数も増加している」とし、よくある相談内容とその対策について、実際のケースを交えながら説明をしました。

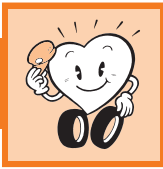
続いて、「標準引越運送約款」の具体的な解説が行われました。詳細に入る前に、標準引越運送約款は平成31年に改正されているので、自社に掲示している約款が最新のものになっているかを確認するよう伝えた後、約款の重要なポイントについて説明し、特に荷物の受け取り3日前までに変更の有無について確認しなければ、キャンセル料及び付帯サービスの実費が収受できないため注意が必要だと述べました。確認方法については、直接お客様と話が出来なかったとしても、留守電やメール・FAXなどを使用して、その記録を残すことが大切であると強調しました。その後、DVD「引越の達人になろう」を視聴し、引越作業の実務における注意点を学びました。

午後からは、(2)紛失、毀損、遅延に係わる賠償の対応について、トラブル事例の検討を個人毎に行った後、グループ討議を実施し、各グループによる検討結果の発表が行われました。



(講師の丸田氏)

TOP



NEWS-3

福岡県トラック青年協議会及び
長崎県トラック協会青年部「新成会」合同研修会 開催状況

ウクライナ侵攻の現状

11月18日(金)長崎市内のホテルニュー長崎にて、福岡県トラック青年協議会及び長崎県トラック協会青年部「新成会」合同研修会が開催されました。軍事アナリストの小川和久氏を講師に迎え、「ウクライナ・台湾 ～激動する国際情勢と日本の安全保障～」と題して講演が行われ、福岡県の青年協議会から45名、長崎県の青年部から15名が参加しました。



《 講演要旨 》

ウクライナ戦争が長期化すると述べる専門家は多い。ロシアのプーチン大統領次第という状況であることは否めず、明日終わってもおかしくはないとも言えるが、現状で戦争終結となるとロシアに侵攻されているウクライナの土地はロシア領になってしまうため、ウクライナとしては攻撃をやめられないのも現実である。長期化の可能性を示す根拠として絡んでくるのが、ロシアの戦術核兵器の使用である。いわゆる小型の核兵器であるが、ロシアが戦術核兵器を使った場合、西側諸国は反撃せざるを得なくなる。反撃の仕方によっては世界的な戦争が始まってしまう。NATO としては世界大戦を回避したい。元の国境線までロシア軍を押し戻すことはできても、それ以上はできない。ウクライナ側に小出しに提供しているのが現状。プーチン大統領の核使用をどう抑え込むかが要となる。プーチン大統領暗殺の話も出ているが、技術的には可能でも状況的に困難である。彼が殺害されると自動的に核兵器が発射されるためである。彼が最近表に出ないことから失脚説や病気説も出ている。動向に注目すべき。

中国は台湾を武力統一したいが、それを実行する能力がない。台湾を占領するには、中国軍は台湾だけでなく米国とも戦わなければならない。そうすると最低でも100万人の陸軍部隊が必要となる。これ以外にも輸送能力、上陸適地から見ても上陸作戦は条件的に成り立たない。ただし、台湾が独立を宣言すると話は変わってくる。国のメンツがあるからやらざるを得なくなる。上陸作戦以外にも手を講じながら台湾が手に入るように動いているのが現状である。



TOPICS

北九州市主催 「北九州ゆめみらいワーク2022」が開催されました

11月9日(水)から10日(木)の2日間、西日本総合展示場(北九州市小倉北区)にて北九州市主催の「北九州ゆめみらいワーク2022」が開催され、2日間合計で7,554名が来場されました。

「北九州ゆめみらいワーク」は、地元地域の中高生を対象として、早い段階から仕事や進学について考え、地元の魅力を知る機会として、地元企業や大学等に出席してもらい、職業体験や社会人との交流などを通じて、若者の職業観の醸成や地元企業・大学等への理解促進、将来の地元就職につなげることを目指し、平成27年度より開催されています。

福ト協の出展ブースでは、映像や配布資料等を活用して、トラック運送業の社会的役割や重要性、運転免許制度等の内容を説明するとともに、福ト協制作の「DRIVER'S VOICE」、「僕の進む路」を上映してプライドを持って仕事に取り組むドライバーの魅力等を紹介しました。



Report

委員会レポート

交通対策委員会 (中嶋利文委員長)

●11月18日【福岡県トラック総合会館】

協議事項では(1)令和4年度年末年始の交通安全運動実施要領(案)について(2)運行管理者一般講習実施機関の追加(案)について協議を行いました。交通安全運動の実施について、福岡運輸支局の安全総点検の期間に合わせた12月10日(土)から翌年1月10日(火)までの実施期間を設定し、6つの重点項目((1)飲酒運転の撲滅(2)子供と高齢者の交通事故防止(3)危険運転の防止(4)夜間におけるハイビームの効果的活用(5)信号を守る(追突事故防止)(6)歩行者保護等の安全運転意識の向上(横断歩道における歩行者優先の徹底))を啓発することで承認されました。

運行管理者一般講習実施機関に筑後自動車学校が追加指定されることが承認され、それに伴って運行管理者一般講習助成要綱の第2条に加筆されました。筑後自動車学校では11月29日から一般講習が開始される予定となっています。

報告事項では(1)全ト協第119回交通対策委員会(9/5)開催状況について(2)第54回全国トラックドライバー・コンテスト結果及び入賞者に対する記念品贈呈について(3)



令和4年度トレーラの安全な使用及び関係法令改正に関わる研修会開催結果について(4)プラン2025目標達成セミナー開催結果について(5)令和4年度助成事業の申請受付状況について報告しました。

中嶋委員長は会の終わりに「死亡事故の件数は減ってはいるが、0にしなければならない。そのための努力を引き続きお願いしたい。車輪の脱落に関しては暖かい地方では比較的少ない事故ではあるが、管理意識をしっかり持つように。また、スマホを使いながらの歩行者や自転車乗車などが非常に増えているので、注意喚起をお願いしたい」と述べました。

年末年始の交通安全運動実施要領について

1	実施期間	令和4年12月10日(土)～令和5年1月10日(火)の32日間
2	重点項目	<p>(1) 飲酒運転の撲滅</p> <p>(2) 子供と高齢者の交通事故防止</p> <p>(3) 危険運転の防止</p> <p>(4) 夜間におけるハイビームの効果的活用</p> <p>(5) 信号を守る(追突事故防止)</p> <p>(6) 歩行者保護等の安全運転意識の向上(横断歩道における歩行者優先の徹底)</p>
3	具体的推進事項	<p>(1) 組織的に実施するもの</p> <p>【県ト協が実施するもの】</p> <p>① ポスター等を作成し、全会員に配布するとともに、運動の周知・徹底を行う。</p> <p>② 期間中、適正化事業指導員による街頭パトロール指導等を実施し、重点項目の推進を図る。</p> <p>③ 懸垂幕、輸送情報等の広報媒体を利用し、運動の周知と意識の高揚を図る。</p> <p>【各支部が実施するもの】</p> <p>① バスキャンペーン等の際には、「信号を守ろう横断幕」を積極的に活用する等して、会員事業所及び地域住民に、本運動の浸透と交通安全意識の高揚を図り、効果的な運動を展開する。</p> <p>② 傘下会員事業所(事業主・管理者・従業員)を対象に必要なに応じて交通安全のための講習会を開催し、運動の周知徹底を図る。</p> <p>(2) 会員事業所が実施するもの</p> <p>① 運動期間中は、各事業所において桃太郎旗等を掲げるとともに運転者への安全運転教育並びに指導を徹底する。</p> <p>② 事業用トラック事故の約半数を占める追突事故を防止するため、運転者に対し安全な運行についての指導を徹底する。</p> <p>③ 飲酒運転撲滅のため、点呼時には必ずアルコール検知器を使用して、酒気帯びの有無について確認し運転者に対して、飲酒運転防止にかかる指導・監督の徹底を図るとともに、飲酒運転が招く結果の重大さを再認識させる。</p> <p>④ 交通事故の要因となる違法駐車を追放について、運転者に対し指導を徹底する。</p> <p>⑤ 当運動ポスターを掲示して、ポスター掲載の無事故カレンダーに交通事故発生の有無について「○×」を記入し、無事故達成に向けての指標とする。</p> <p>⑥ 車両の日常点検及び定期点検を確実に実施し、整備不良による交通事故を防止する。</p> <p>(3) ドライバーの遵守事項</p> <p>① 飲酒運転は絶対にしない。特に年末・年始は飲酒の機会が多いので、十分注意する。</p> <p>② 歩行中や自転車乗車中の子供や高齢者を見かけた時は、徐行するなど、その行動に配慮した思いやり運転を励行する。</p> <p>③ 周りの車等に対する「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持ち、重大な交通事故につながる悪質性・危険性の高い危険運転(あおり運転)をしない。</p> <p>④ 夜間は、スピードを抑え、ハイビームを効果的に活用するなどにより、交通事故を防止する。</p> <p>⑤ 信号を守り車間距離の適切な保持など追突事故防止に努める。</p> <p>⑥ 横断歩道に歩行者を見かけたら、横断歩道手前で一時停止し、歩行者の横断を妨げない。</p>
4	配慮事項	<p>(1) 期間中は、警察・運輸支局等の関係行政機関及び交通関係団体と連携を密にし、本運動の効果的推進を図ること。</p> <p>(2) 街頭キャンペーン等の際には、受傷事故防止に十分配慮すること。</p>

お知らせ

冬季における転倒災害防止対策の推進について ～福岡労働局からのお知らせ～

令和4年の福岡県内における転倒災害の死傷者数は947人で、前年同期(10月末日現在の速報値：新型コロナウイルス感染症による死傷者を除く)と比べ、215人(18.5%)減少しています。

冬季は、積雪や道路凍結など冬季特有の転倒の発生を誘因するリスクが頻繁に発生するおそれがあることから、冬季を迎えるこの時期に改めて転倒災害防止の取組みの啓発を図るため、巻末のリーフレットを作成いたしました。

会員事業所の皆様におかれましては、当該リーフレットを活用して、転倒災害防止対策の徹底に取り組んでいただきますようお願いいたします。

なお、リーフレットは下記の福岡労働局のホームページ

(<https://jsite.mhlw.go.jp/fukuoka-roudoukyoku/>)からご覧になれます。

ホーム > 各種法令・制度・手続き > 安全対策関係 > STOP! 転倒災害プロジェクト > STOP! 転倒災害 FUKUOKA 2022 冬季も転倒災害に注意しよう!

また、下記のリンク先からもご覧になれます。

<https://jsite.mhlw.go.jp/fukuoka-roudoukyoku/content/contents/001304140.pdf>

お知らせ

福岡県トラック協会独自「リクルートサイト」 掲載受付終了のお知らせ

福岡県トラック協会独自のリクルートサイトにつきましては、本誌9月23日号及びホームページ、FAXにてお知らせしましたとおり、令和5年3月31日をもって全日本トラック協会のリクルートサイト(全国統一)に全面移行することとしております。

つきましては、福岡県トラック協会独自のリクルートサイト掲載申し込み受付は、**令和4年12月28日**をもちまして終了させていただきます。

【参考】リクルートサイト移行スケジュール

日程	新規サイト	現行サイト
10月	会員各社で登録申し込み (indeedに求人掲載)	12月末掲載申込受付終了
11月		
12月		
1月		3月末掲載終了 (サイト廃止)
2月		
3月		
4月1日	福岡県ト協HPに登録各社の 求人情報リンク掲載開始	

※新規リクルートサイトの詳細については、次ページをご覧ください。

【問い合わせ先】 公益社団法人福岡県トラック協会

●新規リクルートサイト：担当 業務2課 吉田 TEL: 092-451-7845

トラック協会 会員事業者各位

無料採用ホームページ制作のご案内

全日本トラック協会と都道府県トラック協会は、人材確保対策として全国的な求人情報サイトを構築するため、株式会社リクルートと協働で、会員事業者の皆様に費用をかけずに最小限の手間で採用ホームページを開設するツールを提供させていただきます。株リクルートが無料で提供する「Airワーク採用管理」を利用し、トラック協会会員事業者の皆様には同社の専任スタッフが採用ホームページ公開まで無償でサポート致します。



本サポートに関する詳しい説明は事業説明動画をご覧ください。

<https://youtu.be/MZUxERbsopl>

求人情報サイト全体イメージ

この度、都道府県ト協にて、会員事業者さまの求人情報を取りまとめたサイトを開設することとなりました。近年の求職者は、応募前に企業採用HPを見る傾向があります。自社採用HPをお持ちでない会員事業者様はこの機会に無料で開設いただけます。

国交省
トラガールサイト

リンク

全ト協

リンク

都道府県ト協

リンク

会員事業者
採用ホームページ

無料で開設!

求人情報は自動転載

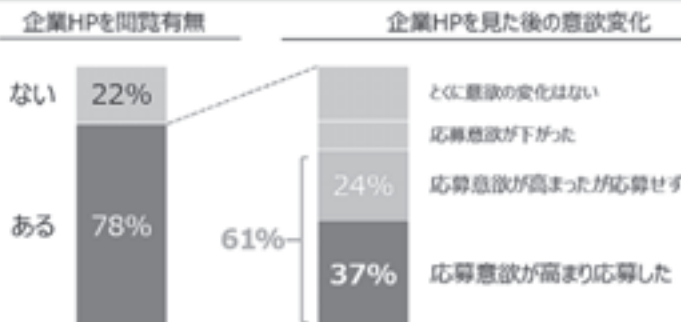
本事業の4つのポイント

- 無料で採用HPを開設可能!
- リクルートが開設サポート!
- ランニングコスト一切なし!
- 求人はindeedにも自動掲載!

求人検索エンジン
indeed

1年以内に仕事探しをした人へのアンケート

※参考データ (リクルート社アンケートより)



求人広告で仕事を探す求職者の8割は企業HPを閲覧し、その内の6割は応募意欲が向上しています。

是非この機会に自社採用HPの開設をご検討ください。

お知らせ**「年末年始の輸送等に関する安全総点検」の実施について**

九州運輸局・福岡運輸支局は、「年末年始の輸送安全総点検」を令和4年12月10日(土)から令和5年1月10日(火)まで実施します。

各会員事業所におかれましては、「重点点検事項・自動車交通関係点検事項」をご理解のうえ、一層の安全運行管理体制の強化を図り、交通事故の絶滅を期されますようお願いいたします。

なお、具体的な計画に基づき、この総点検に取り組んで頂くため、本誌巻末綴込みの「点検表」を令和5年1月17日(火)までに福岡県トラック協会業務一課宛FAX(092-451-7964)にて提出をお願いします。

●重点点検事項

- ①安全管理(特に乗務員の健康状態、過労状態の確実な把握、乗務員に対する指導監督体制)の実施状況
- ②自然災害、事故等発生時の乗客等の安全確保のための通報・連絡・指示体制の整備・構築状況
- ③テロ防止のための警戒体制の整備状況や乗客等の安心確保のための取組、テロ発生時の通報・連絡・指示体制の整備状況及びテロ発生を想定した訓練の実施状況
- ④新型コロナウイルス感染症に関する感染拡大予防ガイドラインの遵守状況、新型インフルエンザ対応マニュアル、事業継続計画の策定状況、対策に必要な物資等の備蓄状況及び職場における感染防止対策の周知・徹底状況などの感染対策の実施状況

●自動車局点検事項

- ①健康管理体制の状況
- ②運転者に過労運転を行わせないための安全対策の実施状況
- ③運転者に飲酒運転や薬物運転等を行わせないための安全対策の実施状況
- ④車両の日常点検整備、定期点検整備等の実施状況(特に大型自動車の脱輪事故防止対策及びスペアタイヤ等の定期点検実施状況)
- ⑤大雪に対する輸送の安全確保の実施状況

●自動車交通関係点検事項

- ①点呼の実施、運転者に対する指導監督の実施状況
- ②コンテナ輸送における安全対策の実施状況
- ③自然災害、事故等発生時の乗客等の安全確保のための通報・連絡・指示体制の整備・構築状況
- ④テロ防止のための警戒体制の整備状況、テロ発生時の通報・連絡・指示体制の整備状況及びテロ発生を想定した訓練の実施状況
- ⑤新型コロナウイルス感染症に関する感染拡大予防ガイドラインの遵守状況、新型インフルエンザ対応マニュアル、事業継続計画の策定状況、対策に必要な物資等の備蓄状況及び職場における感染防止対策の周知・徹底状況などの感染対策の実施状況

お知らせ

環境優良車普及機構(LEVO)からのお知らせ

2022年度(令和4年度) 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 (低炭素型ディーゼルトラック普及加速化事業)の 申請台数の制限の撤廃のご案内 【申請台数の制限を撤廃します】

当機構では関係省庁のご指導のもと、補助事業のさらなる利用促進を図り、効果的に二酸化炭素の排出削減を図るため、今般、下記のとおり申請台数の制限について変更を行うことといたしました。

これにより、すでに申請している事業者様や補助金の交付を受けた事業者様も、さらに追加して申請が可能となりましたのでご案内いたします。何卒、ご手配の程お願い申し上げます。

1. 低炭素型ディーゼルトラックの申請台数の制限の撤廃

現在、1事業者様あたりの申請台数を、「1事業者10台」として受付を行っているところですが、効果的に二酸化炭素の排出削減を図るため、「**申請台数 制限なし**」に変更することとしました。

なお、これまでに「1事業者10台」まで補助金の申請、交付を受けた事業者(リースにあつては貸渡先事業者)につきましても、追加にて申請することができることとなりました。

2. 実施日

2022年(令和4年)12月5日(月)の申請受付分から実施します。

(留意事項)

- 申請による審査は、申込み順に行います。
- 予算額の残額が2割程度に達した場合には、当該日付以降は申し込み順による審査を行うことはせず、当該日付から2023年(令和5年)1月31日(火)までに申し込みのあったすべての交付申請を対象に審査を行います。

また、予算残額を超える申請があった場合には、初めて申請を行う事業者、交付台数の少ない事業者を優先して抽選するなど配慮したうえ補助事業者を決定することとします。

3. 問合せ先

一般財団法人環境優良車普及機構

「低炭素型ディーゼルトラック普及加速化事業」執行グループ 岩崎、神保

電話 03-5341-4577



(公社)全日本トラック協会・(公社)福岡県トラック協会
令和4年度 陸運事業者のための安全マネジメント研修 ～運輸安全マネジメントと労働安全衛生マネジメントシステムの一体化による効果的な運用～のご案内

(公社)福岡県トラック協会では(公社)全日本トラック協会と共催で、「運輸安全マネジメント」と「労働安全衛生マネジメントシステムガイドライン(RIKMS)」の両マネジメントを理解し、一体的に運用することにより、効果的に事故や災害のリスクを低減し、安全衛生のレベルアップを図ることを目的としたセミナーを開催いたしますので、是非ご参加賜りますようお願い申し上げます。

なお、本研修会の受講は安全性評価事業(Gマーク)の加点対象となり、受講証明書が発行されます。

1. 日 時 令和5年1月17日(火) 13時30分～16時30分
2. 場 所 リファレンス駅東ビル 3F「H-2会議室」
福岡市博多区博多駅東1-16-14
※公共交通機関をご利用下さい。
3. 内 容 (1)「運輸安全マネジメント」と「陸運業における労働安全衛生マネジメントシステムガイドライン(RIKMS)」の概要説明
(2)「運輸安全マネジメント」と「RIKMS」の一体的運用方法について
(3)リスクアセスメントについて
(4)まとめ・質疑応答
4. 講 師 陸上貨物運送事業労働災害防止協会 安全管理士 田畑 裕司 氏
5. 対 象 者 トラック運送事業者の経営者及び運行管理者・安全担当責任者等
6. 受 講 料 無料(福ト協会員限定)
7. 定 員 定員100名
(1社1名までとし、先着順で定員になり次第締め切ります)
8. 申込方法 本誌巻末の「参加申込書」に必要事項をご記入いただき、
12月28日(水)までに、FAXにてお申し込み下さい。

◆お申し込み、お問い合わせ先

(公社)福岡県トラック協会 業務二課 TEL:092-451-7845 / FAX:092-451-7964



(公社)全日本トラック協会・(公社)福岡県トラック協会 「標準的な運賃」活用セミナーのご案内

令和2年4月に告示された「標準的な運賃」について、一昨年度までの原価計算活用セミナーに準じたものとして「標準的な運賃」の考え方を踏まえ、原価計算や、荷主との交渉方法を中心に学ぶ「標準的な運賃」活用セミナーを下記要領にて全ト協と共催で開催いたします。

「標準的な運賃」の考え方やその適用方法等について会員事業者の皆様への浸透を図り、荷主との交渉に活用いただくために、是非ご参加賜りますようご案内申し上げます。

1. 日 時 令和5年1月24日(火) 13時30分～17時00分
2. 場 所 リファレンス駅東ビル3階「H-2」
福岡市博多区博多駅東1丁目16-14
※公共交通機関をご利用下さい。
3. 内 容 ○「標準的な運賃」を踏まえた原価計算(演習など)
○原価計算を反映した運行形態別運賃の考え方
○荷主との交渉方法
○燃料サーチャージ ほか
※電卓をご持参下さい。
4. 講 師 日本PMIコンサルティング株式会社 小坂 真弘 氏
5. 対 象 者 トラック運送事業者(経営者、管理者、運賃交渉担当者等)
6. 受 講 料 無料(福ト協会員限定)
7. 定 員 定員100名
(1社1名までとし、先着順で定員になり次第締め切ります)
8. 申込方法 本誌巻末の「参加申込書」に必要事項をご記入いただき、
1月13日(金)までに、FAXにてお申し込み下さい。

※「標準的な運賃」については、全ト協及び福ト協のホームページをご覧ください。

全ト協：https://jta.or.jp/member/kaisei_jigyoho/kaisei_jigyoho_202008.html

福ト協：<https://hearty.or.jp/publics/index/24/#block134>

◆お申し込み先、お問い合わせ先

(公社)福岡県トラック協会 業務二課 TEL:092-451-7845 / FAX:092-451-7964



第119回トラック運送業界の景況感(速報) 令和4年7月～9月期

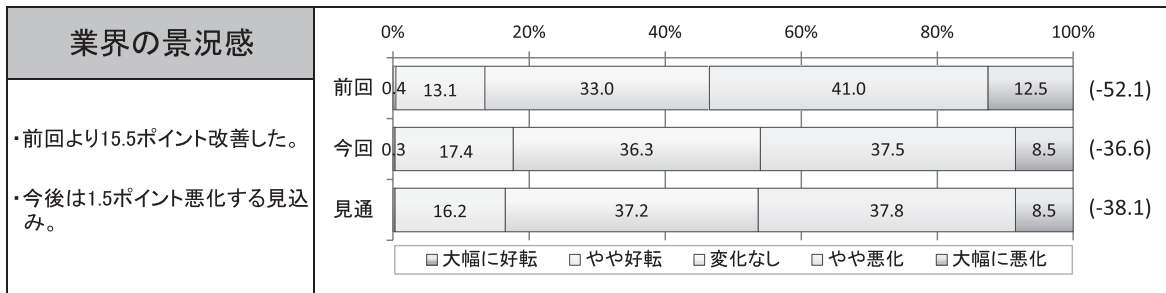
日銀短観(9月調査)では、大企業・製造業でプラス8と原材料コスト上昇を背景に3期連続の悪化となったが、大企業・非製造業はプラス14と2期連続で改善した。

一方、トラック運送業においては、燃料高騰に対する「燃料油価格激変緩和補助金」及び「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」等が奏功し、損益状況が改善したことから、令和4年7月～9月期の景況感は▲36.6と前回より15.5ポイント改善した。

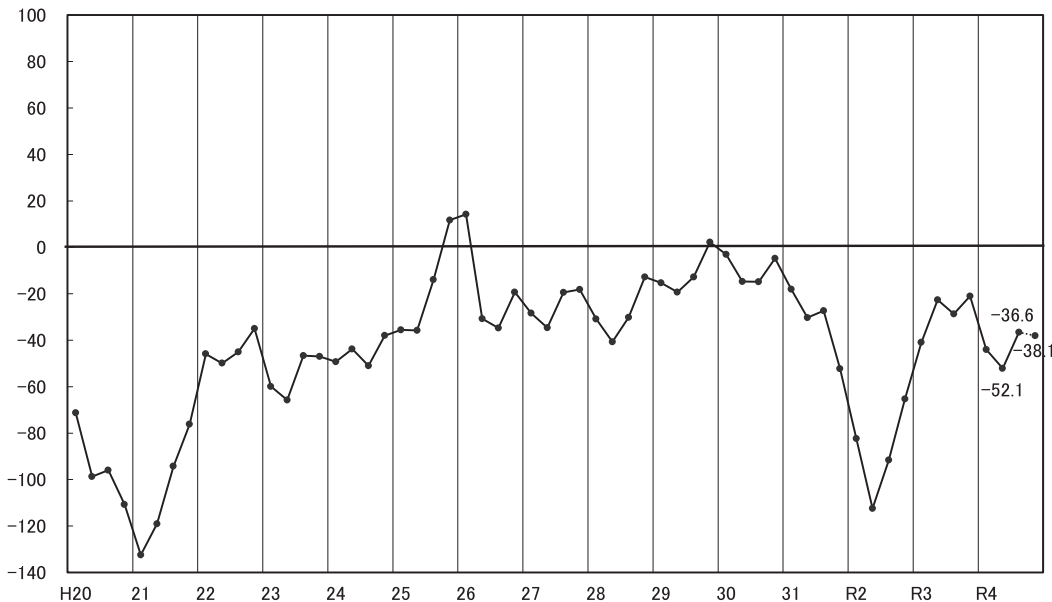
なお、今後の見通しは、円安による燃料価格の高止まり、資材高などによる損益見通しを織り込み、▲38.1(今回▲36.6)と横ばいの見込みである。

1. 業界の景況感:今回(令和4年7月～9月期)の概況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 業界の景況感は、燃料価格の水準が幾分下落し、燃料高騰に対する「燃料油価格激変緩和補助金」及び「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」等が奏功し、損益状況が改善したことから、「好転」とした事業者は17.7%(前回13.5%)、「悪化」とした事業者は46.0%(前回53.5%)で、判断指標は▲36.6と前回(▲52.1)より15.5ポイント改善した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 今後の見通しは、燃料のコストアップ、各種資材高等の影響を織り込み、▲38.1(今回▲36.6)と、1.5ポイント悪化する見込みである。



トラック運送業界の景況感の推移(H20以降)



(注1) 各グラフ(3段の横棒グラフ)の上段は前回(R4.4月～6月期)の状況、中段は今回(R4.7月～9月期)の状況、下段は今後(R4.10月～12月期)の見通しを示す。いずれも前年同期比の回答である。

(注2) 各グラフ(3段の横棒グラフ)の構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

(注3) 各グラフ(3段の横棒グラフ)右側にあるカッコ内は判断指数。各判断指数は、各設問の回答に対し、「大幅に増加・上昇・好転、労働力不足」は+2、「やや増加・上昇・好転、労働力不足」は+1、「横ばい」は0、「やや減少・低下・悪化、労働力過剰」は-1、「大幅に減少・低下・悪化、労働力過剰」は-2の点数に置き換え、平均を100倍することにより各判断指数を算出している。

A(設問Aの回答者数) = a1+a2+a3+a4+a5 (設問Aの選択肢1～5の回答数の和)

指標 = $\{(+2 \times a1) + (+1 \times a2) + (0 \times a3) + (-1 \times a4) + (-2 \times a5)\} \div A \times 100$

2.共通の概況①:今回(令和4年7月～9月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実働率は▲15.9(前回▲31.2)と15.3ポイント改善、実車率は▲15.2(前回▲26.8)と11.6ポイント改善し、輸送効率は改善傾向に転じた。 ・ 運転者の採用動向は▲10.1(前回▲12.5)と2.4ポイント上昇し、運転者の雇用動向(労働力の不足感)は46.8(前回76.1)と29.3ポイント低下し、運転者労働力の不足感は低下した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実働率は▲11.3(今回▲15.9)と4.6ポイント改善、実車率は▲11.6(今回▲15.2)と3.6ポイント改善し、輸送効率は改善傾向となる見込みである。 ・ 運転者の採用動向は▲9.1(今回▲10.1)と1.0ポイント上昇、運転者の雇用動向(労働力の不足感)は41.9(今回46.8)と4.9ポイント低下し、運転者労働力の不足感は低下する見込みである。

実働率																																	
<p>・ 前回より15.3ポイント改善した。</p> <p>・ 今後は4.6ポイント改善する見込み。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>0%</th> <th>20%</th> <th>40%</th> <th>60%</th> <th>80%</th> <th>100%</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>0.0</td> <td>18.9</td> <td>38.4</td> <td>35.4</td> <td>7.4</td> <td></td> <td>(-31.2)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>0.9</td> <td>22.0</td> <td>42.1</td> <td>30.5</td> <td>4.6</td> <td></td> <td>(-15.9)</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td>0.6</td> <td>21.0</td> <td>48.5</td> <td>26.2</td> <td>3.7</td> <td></td> <td>(-11.3)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	0%	20%	40%	60%	80%	100%	差	前回	0.0	18.9	38.4	35.4	7.4		(-31.2)	今回	0.9	22.0	42.1	30.5	4.6		(-15.9)	見通	0.6	21.0	48.5	26.2	3.7		(-11.3)
項目	0%	20%	40%	60%	80%	100%	差																										
前回	0.0	18.9	38.4	35.4	7.4		(-31.2)																										
今回	0.9	22.0	42.1	30.5	4.6		(-15.9)																										
見通	0.6	21.0	48.5	26.2	3.7		(-11.3)																										
実車率																																	
<p>・ 前回より11.6ポイント改善した。</p> <p>・ 今後は3.6ポイント改善する見込み。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>0%</th> <th>20%</th> <th>40%</th> <th>60%</th> <th>80%</th> <th>100%</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td></td> <td>18.1</td> <td>44.5</td> <td>29.8</td> <td>7.6</td> <td></td> <td>(-26.8)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>0.6</td> <td>21.3</td> <td>45.1</td> <td>28.0</td> <td>4.9</td> <td></td> <td>(-15.2)</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td>0.9</td> <td>20.1</td> <td>49.1</td> <td>26.2</td> <td>3.7</td> <td></td> <td>(-11.6)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	0%	20%	40%	60%	80%	100%	差	前回		18.1	44.5	29.8	7.6		(-26.8)	今回	0.6	21.3	45.1	28.0	4.9		(-15.2)	見通	0.9	20.1	49.1	26.2	3.7		(-11.6)
項目	0%	20%	40%	60%	80%	100%	差																										
前回		18.1	44.5	29.8	7.6		(-26.8)																										
今回	0.6	21.3	45.1	28.0	4.9		(-15.2)																										
見通	0.9	20.1	49.1	26.2	3.7		(-11.6)																										
運転者の採用動向																																	
<p>・ 前回より2.4ポイント上昇した。</p> <p>・ 今後は1.0ポイント上昇する見込み。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>0%</th> <th>20%</th> <th>40%</th> <th>60%</th> <th>80%</th> <th>100%</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td></td> <td>12.7</td> <td>64.6</td> <td>20.1</td> <td>2.6</td> <td></td> <td>(-12.5)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>0.3</td> <td>11.3</td> <td>69.5</td> <td>15.9</td> <td>3.0</td> <td></td> <td>(-10.1)</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td>0.3</td> <td>14.0</td> <td>66.2</td> <td>15.2</td> <td>4.3</td> <td></td> <td>(-9.1)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	0%	20%	40%	60%	80%	100%	差	前回		12.7	64.6	20.1	2.6		(-12.5)	今回	0.3	11.3	69.5	15.9	3.0		(-10.1)	見通	0.3	14.0	66.2	15.2	4.3		(-9.1)
項目	0%	20%	40%	60%	80%	100%	差																										
前回		12.7	64.6	20.1	2.6		(-12.5)																										
今回	0.3	11.3	69.5	15.9	3.0		(-10.1)																										
見通	0.3	14.0	66.2	15.2	4.3		(-9.1)																										
運転者の雇用動向 (労働力の不足感)																																	
<p>・ 前回より29.3ポイント低下した(不足感が弱くなった)。</p> <p>・ 今後は4.9ポイント低下する見込み。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>0%</th> <th>20%</th> <th>40%</th> <th>60%</th> <th>80%</th> <th>100%</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td></td> <td>17.7</td> <td>45.9</td> <td>32.0</td> <td>3.6</td> <td>0.8</td> <td>(76.1)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>3.4</td> <td>46.8</td> <td>43.1</td> <td>6.7</td> <td></td> <td></td> <td>(46.8)</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td>0.6</td> <td>48.0</td> <td>44.0</td> <td>7.3</td> <td></td> <td></td> <td>(41.9)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	0%	20%	40%	60%	80%	100%	差	前回		17.7	45.9	32.0	3.6	0.8	(76.1)	今回	3.4	46.8	43.1	6.7			(46.8)	見通	0.6	48.0	44.0	7.3			(41.9)
項目	0%	20%	40%	60%	80%	100%	差																										
前回		17.7	45.9	32.0	3.6	0.8	(76.1)																										
今回	3.4	46.8	43.1	6.7			(46.8)																										
見通	0.6	48.0	44.0	7.3			(41.9)																										

(注4)雇用状況については、上段は前回(R4.4月～6月期)の状況、中段は今回(R4.7月～9月期)の状況、下段は今後(R4.10月～12月期)の見通しを示しているが、前回及び今回は前年同期比ではなく「その期の状況」を、見通しは「前年同期比の見通し」を集計している。

(次の頁に続きます)

3.共通の概況②:今回(令和4年7月～9月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 所定外労働時間は▲19.2(前回▲28.0)と8.8ポイント増加、貨物の再委託(下請運送会社への委託割合)は▲7.0(前回▲13.3)6.3ポイント増加した。 経常損益は燃料価格の高止まりによるコスト増加に対する助成金等が奏功し、▲42.4(前回▲58.3)と15.9ポイント改善した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 所定外労働時間は▲20.4(今回▲19.2)と1.2ポイント減少、貨物の再委託は▲6.7(今回▲7.0)と0.3ポイント増加の見込みである。 経常損益は営業収入の増加等を織り込み、▲36.9(今回▲42.4)と5.5ポイント改善する見込みである。

所定外労働時間																													
<ul style="list-style-type: none"> ・前回より8.8ポイント増加した。 ・今後は1.2ポイント減少する見込み。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>横ばい</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>0.8</td> <td>7.6</td> <td>58.4</td> <td>29.2</td> <td>4.0</td> <td>(-28.0)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>0.9</td> <td>13.4</td> <td>53.0</td> <td>30.8</td> <td>1.8</td> <td>(-19.2)</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>0.9</td> <td>10.1</td> <td>59.1</td> <td>27.4</td> <td>2.4</td> <td>(-20.4)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計	前回	0.8	7.6	58.4	29.2	4.0	(-28.0)	今回	0.9	13.4	53.0	30.8	1.8	(-19.2)	見通し	0.9	10.1	59.1	27.4	2.4	(-20.4)
項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	0.8	7.6	58.4	29.2	4.0	(-28.0)																							
今回	0.9	13.4	53.0	30.8	1.8	(-19.2)																							
見通し	0.9	10.1	59.1	27.4	2.4	(-20.4)																							
貨物の再委託 (下請運送会社への委託割合)																													
<ul style="list-style-type: none"> ・前回より6.3ポイント増加した。 ・今後は0.3ポイント増加する見込み。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>変わらない</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>1.2</td> <td>18.3</td> <td>52.3</td> <td>22.5</td> <td>5.8</td> <td>(-13.3)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>1.5</td> <td>21.3</td> <td>49.4</td> <td>24.1</td> <td>3.7</td> <td>(-7.0)</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>0.9</td> <td>19.2</td> <td>54.9</td> <td>22.3</td> <td>2.7</td> <td>(-6.7)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	変わらない	やや減少	大幅に減少	合計	前回	1.2	18.3	52.3	22.5	5.8	(-13.3)	今回	1.5	21.3	49.4	24.1	3.7	(-7.0)	見通し	0.9	19.2	54.9	22.3	2.7	(-6.7)
項目	大幅に増加	やや増加	変わらない	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	1.2	18.3	52.3	22.5	5.8	(-13.3)																							
今回	1.5	21.3	49.4	24.1	3.7	(-7.0)																							
見通し	0.9	19.2	54.9	22.3	2.7	(-6.7)																							
経常損益																													
<ul style="list-style-type: none"> ・前回より15.9ポイント改善した。 ・今後は5.5ポイント改善する見込み。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に好転</th> <th>やや好転</th> <th>変化なし</th> <th>やや悪化</th> <th>大幅に悪化</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>0.4</td> <td>12.9</td> <td>31.0</td> <td>39.4</td> <td>16.3</td> <td>(-58.3)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>0.3</td> <td>15.2</td> <td>35.7</td> <td>39.3</td> <td>9.5</td> <td>(-42.4)</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td></td> <td>17.7</td> <td>36.3</td> <td>37.5</td> <td>8.5</td> <td>(-36.9)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に好転	やや好転	変化なし	やや悪化	大幅に悪化	合計	前回	0.4	12.9	31.0	39.4	16.3	(-58.3)	今回	0.3	15.2	35.7	39.3	9.5	(-42.4)	見通し		17.7	36.3	37.5	8.5	(-36.9)
項目	大幅に好転	やや好転	変化なし	やや悪化	大幅に悪化	合計																							
前回	0.4	12.9	31.0	39.4	16.3	(-58.3)																							
今回	0.3	15.2	35.7	39.3	9.5	(-42.4)																							
見通し		17.7	36.3	37.5	8.5	(-36.9)																							

【調査の概要】

平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。第119回調査は、令和4年10月1日に、モニターに対して調査開始、令和4年10月31日回収分までを集計。

特積	一般	回答事業者全体
139	477	511

4.一般貨物:今回(令和4年7月～9月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 一般貨物では、輸送数量は▲7.3(前回▲1.9)と5.4ポイント悪化、運賃・料金の水準は▲26.8(前回▲5.0)と21.8ポイント悪化し、営業収入(売上高)は▲7.6(前回▲3.1)と4.5ポイント悪化した。 営業利益は▲26.8(前回▲24.6)と2.2ポイント悪化した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 一般貨物では、輸送数量は▲6.7(今回▲7.3)と0.6ポイント改善、運賃・料金の水準は▲22.9(今回▲26.8)と3.9ポイント改善し、営業収入(売上高)は13.1(今回▲7.6)と20.7ポイント改善する見込みである。 営業利益は、▲22.0(今回▲26.8)と4.8ポイント改善する見込みである。

輸送数量																																	
<p>・前回より5.4ポイント悪化した。</p> <p>・今後は0.6ポイント改善する見込み。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0%</th> <th>20%</th> <th>40%</th> <th>60%</th> <th>80%</th> <th>100%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>0.8</td> <td>30.8</td> <td>36.4</td> <td>29.4</td> <td>2.5</td> <td></td> <td>(-1.9)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>0.6</td> <td>31.2</td> <td>31.2</td> <td>34.1</td> <td>2.9</td> <td></td> <td>(-7.3)</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td></td> <td>28.7</td> <td>39.8</td> <td>27.7</td> <td>3.8</td> <td></td> <td>(-6.7)</td> </tr> </tbody> </table>		0%	20%	40%	60%	80%	100%		前回	0.8	30.8	36.4	29.4	2.5		(-1.9)	今回	0.6	31.2	31.2	34.1	2.9		(-7.3)	見通		28.7	39.8	27.7	3.8		(-6.7)
	0%	20%	40%	60%	80%	100%																											
前回	0.8	30.8	36.4	29.4	2.5		(-1.9)																										
今回	0.6	31.2	31.2	34.1	2.9		(-7.3)																										
見通		28.7	39.8	27.7	3.8		(-6.7)																										
運賃・料金の水準																																	
<p>・前回より21.8ポイント悪化した。</p> <p>・今後は3.9ポイント改善する見込み。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0%</th> <th>20%</th> <th>40%</th> <th>60%</th> <th>80%</th> <th>100%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>0.8</td> <td>20.5</td> <td>57.8</td> <td>14.7</td> <td>6.2</td> <td></td> <td>(-5.0)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>0.6</td> <td>18.2</td> <td>43.3</td> <td>29.6</td> <td>8.3</td> <td></td> <td>(-26.8)</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td>0.6</td> <td>15.6</td> <td>51.3</td> <td>25.2</td> <td>7.3</td> <td></td> <td>(-22.9)</td> </tr> </tbody> </table>		0%	20%	40%	60%	80%	100%		前回	0.8	20.5	57.8	14.7	6.2		(-5.0)	今回	0.6	18.2	43.3	29.6	8.3		(-26.8)	見通	0.6	15.6	51.3	25.2	7.3		(-22.9)
	0%	20%	40%	60%	80%	100%																											
前回	0.8	20.5	57.8	14.7	6.2		(-5.0)																										
今回	0.6	18.2	43.3	29.6	8.3		(-26.8)																										
見通	0.6	15.6	51.3	25.2	7.3		(-22.9)																										
営業収入(売上高)																																	
<p>・前回より4.5ポイント悪化した。</p> <p>・今後は20.7ポイント改善する見込み。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0%</th> <th>20%</th> <th>40%</th> <th>60%</th> <th>80%</th> <th>100%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td></td> <td>23.2</td> <td>53.0</td> <td>21.3</td> <td>2.5</td> <td></td> <td>(-3.1)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td></td> <td>16.2</td> <td>63.4</td> <td>16.9</td> <td>3.5</td> <td></td> <td>(-7.6)</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td></td> <td>30.3</td> <td>53.8</td> <td>14.6</td> <td>1.3</td> <td></td> <td>(13.1)</td> </tr> </tbody> </table>		0%	20%	40%	60%	80%	100%		前回		23.2	53.0	21.3	2.5		(-3.1)	今回		16.2	63.4	16.9	3.5		(-7.6)	見通		30.3	53.8	14.6	1.3		(13.1)
	0%	20%	40%	60%	80%	100%																											
前回		23.2	53.0	21.3	2.5		(-3.1)																										
今回		16.2	63.4	16.9	3.5		(-7.6)																										
見通		30.3	53.8	14.6	1.3		(13.1)																										
営業利益																																	
<p>・前回より2.2ポイント悪化した。</p> <p>・今後は4.8ポイント改善する見込み。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0%</th> <th>20%</th> <th>40%</th> <th>60%</th> <th>80%</th> <th>100%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>0.4</td> <td>26.7</td> <td>31.7</td> <td>30.2</td> <td>11.0</td> <td></td> <td>(-24.6)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>0.6</td> <td>22.3</td> <td>35.0</td> <td>33.8</td> <td>8.3</td> <td></td> <td>(-26.8)</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td>0.3</td> <td>24.5</td> <td>38.5</td> <td>26.1</td> <td>10.5</td> <td></td> <td>(-22.0)</td> </tr> </tbody> </table>		0%	20%	40%	60%	80%	100%		前回	0.4	26.7	31.7	30.2	11.0		(-24.6)	今回	0.6	22.3	35.0	33.8	8.3		(-26.8)	見通	0.3	24.5	38.5	26.1	10.5		(-22.0)
	0%	20%	40%	60%	80%	100%																											
前回	0.4	26.7	31.7	30.2	11.0		(-24.6)																										
今回	0.6	22.3	35.0	33.8	8.3		(-26.8)																										
見通	0.3	24.5	38.5	26.1	10.5		(-22.0)																										



2023年1月4日より車検証が電子化されます

2023年1月4日より 車検証が電子化されます



電子車検証でここが変わる！



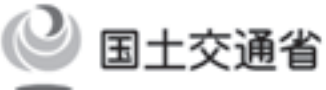
A6サイズでコンパクト



車検証情報はアプリで確認



記録等事務代行サービスで一部手続きが出頭不要



電子車検証特設サイト

<https://www.denshishakensho-portal.mlit.go.jp/>



電子車検証とは？

2023年1月4日より自動車検査証を電子化し、必要最小限の記載事項を除き自動車検査証情報はICタグに記録します。ICタグの情報は汎用のICカードリーダーが接続されたPCや読み取り機能付きスマートフォンで参照可能です。



表



裏

車検証閲覧アプリ



電子車検証の券面には、有効期間や使用者住所、所有者情報が記載されないため、ユーザーや関係事業者は、車検証閲覧アプリを活用して当該情報を確認することができます。

アプリのインストール方法は
準備でき次第特設サイトでご案内します

事業者の皆様へ 記録等事務代行サービス



電子車検証に搭載されているICタグの記録情報の書き換えのみの継続検査や変更記録手続きの場合、運輸支局等から委託を受けた記録等事務代行者は運輸支局等への出頭は不要となります。運輸支局長等から委託を受けた記録等事務代行者による電子車検証の記録事項の書き換え及び検査標章その他標章の印刷を可能とする記録等事務代行サービスを新たに構築します。



電子車検証特設サイト

<https://www.denshishakensho-portal.mlit.go.jp/>





お知らせ

大分県RORO船利用促進セミナーの開催について ～大分県からのお知らせ～

この度、大分県では、平成28年度に策定した「九州の東の玄関口としての拠点化戦略」に基づく、大分港大分地区の物流拠点化に向けた取組の一環として、大分港の概要、各船会社によるRORO船の運航状況、RORO船利用に係る助成金制度の詳細、国の物流効率化の推進等を紹介するセミナーを開催いたします。

参加ご希望の方は、巻末の「RORO船利用促進セミナー参加申込書」に必要事項をご記入の上、令和5年1月6日(金)までに、大分県土木建築部港湾課へお申し込み下さい。

●日時 令和5年1月19日(木) 10:00～12:00

●場所 福岡商工会議所ビル
福岡市博多区博多駅前2丁目9-28

●内容 ① 大分港を発着する定期RORO船航路と県の施策等について
② 静岡県取組(静岡県)
③ 和歌山県取組(和歌山県)
④ RORO船定期航路の提供サービスについて(各船会社)
⑤ 物流の効率化に向けた政府の対応と取組事例(九州運輸局)
⑥ その他

※申込みは先着順とし、会場の都合によりお断りする場合があります。 ※会場ではマスクの着用をお願いします。

○申込み・お問い合わせ先

大分県土木建築部港湾課 港湾振興班 佐藤、堺田

電話番号:097-506-4617 FAX:097-506-1776 Eメール:sakaida-takeshi@pref.oita.lg.jp

会員だより

新規会員のご紹介

(株)トランスホープ
(福岡支部南福岡分会)

代表者 山本 孝博

那珂川市仲1丁目109-3

TEL092-555-2341

[事業の種類]一般貨物自動車運送事業

[車両数]普通2両、小型3両

(株)コトブキ流通
(福岡支部粕屋分会)

代表者 森岡 誠

糟屋郡粕屋町甲仲原2丁目22-7

TEL092-939-5427

[事業の種類]一般貨物自動車運送事業

[車両数]普通11両、牽引4両

(株)サンエー
(北九州支部豊築分会)

代表者 奥村 伸一

築上郡築上町市有安374-3

TEL0930-56-2005

[事業の種類]一般貨物自動車運送事業

貨物利用運送事業

[車両数]普通2両、小型3両

Schedule 行事日程

(12月)	県ト協行事日程(12月9日～12月22日まで)
9日(金)	適正化事業推進委員会[10:30](401会議室)
13日(火)	小学生エコ絵画コンクール第一次審査[10:00](201会議室)
13日(火)	人材確保セミナー[13:30](リファレンス駅東ビル)
14日(水)	拠点等整備検討特別委員会[13:30](401会議室)
15日(木)	広報委員会[13:30](401会議室)
16日(金)	交通対策委員会[13:30](401会議室)
16日(金)	利用運送・積合部会役員会[14:00](201会議室)
19日(月)	経営改善委員会[13:30](401会議室)
20日(火)	整備管理者選任前研修[受付12:30～/開始13:30～](なみきホール)
21日(水)	労務厚生委員会[14:00](401会議室)

※新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため延期または中止になる行事がありますのでご注意下さい。

点検表(トラック関係)

事業所名: _____

点検実施日: _____

No1

1. 健康管理体制の状況		点検結果	問題点があればその内容と講じた措置等
(1)	定期健康診断において、要再検査や要精密検査、要治療の所見がある場合には、当該運転者に医師の診断等を受けさせ、医師の判断により必要に応じて、所見に応じた検査を受診させるとともに、これらの結果を把握し、医師から結果に基づく運転者の乗務に係る意見を聴取しているか。(上記所見がない場合は○を記載。)		
(2)	医師からの意見等を動かし、運転者について、乗務の継続、業務転換、乗務時間の短縮、夜間乗務の回数の削減等の就業上の措置を決定するとともに、当該運転者の健康状態を継続的に把握しているか。		
(3)	「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」に記載されている乗務中における運行中止の判断目安等に従って、以下の事項を適切に実施するための体制を整備しているか。 ・乗務前点呼において、運転者が安全に乗務できる健康状態かどうかを判断し、乗務の可否を決定 ・運行中の運転者の体調変化等による運行中止等の判断・指示		
(4)	運転者に対して運行中に体調の異常を感じた時に、無理に運行を続けると非常に危険であることを理解させ、運行中に体調の異常を少しでも感じた場合、速やかに営業所に連絡する等の指導を徹底しているか。		
(5)	脳・心疾患や睡眠障害等の運転に支障を及ぼすおそれのある疾病等の着実かつ早期の発見のため、当該疾病に関するスクリーニング検査等を運転者に受診させているか。(「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」において推奨事項としていることから、実施している又は検討中の場合は「○」、実施していない又は検討していない場合は「×」を記載。)		
2. 運転者に過労運転を行わせないための安全対策の実施状況			
(1)	「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」告示の内容(特に長距離運転又は夜間運転の際の乗務時間)を遵守しているか。		
(2)	適切な運行指示書の作成及び適切な指示をしているか。		
3. 運転者に飲酒運転や薬物運転を行わせないための安全対策の実施状況			
(1)	飲酒運転を未然に防ぐため、アルコール検知器の使用を徹底し、厳正な点呼を実施しているか。		
(2)	運転者等に対して、飲酒運転防止に対する指導・啓発活動を実施しているか。		
(3)	飲酒を習慣にしている人を把握し、翌日に乗務がある場合の飲酒等について指導しているか。		
(4)	覚せい剤や危険ドラッグ等の薬物使用防止に対する指導・啓発活動を実施しているか。		
(5)	運行経路にフェリーを組み入れている場合には、抜き打ちでフェリーに乗船するなどにより、乗船中の運転者の飲酒の有無など休息状況を点検しているか。(運行経路にフェリーを組み入れていない場合は○を記載。)		
4. 車両の日常点検整備、定期点検整備等の実施状況			
(1)	車輪脱落事故や車両火災事故及び車体腐食事故をはじめとした整備不良事故を防ぐため、自動車点検基準に基づく日常点検及び定期点検が確実に実施されているか。		
(2)	自動車の点検整備等に関する社内規程の内容について、整備管理者や整備担当者、運転者等への周知徹底が図られているか。		
(3)	大型車の車輪脱落事故防止「令和4年度緊急対策」に基づく「車輪脱落事故防止キャンペーン」の取組内容について、運行管理者、整備管理者及び運転者等に対し、社内でのポスターの掲示等を通じて周知徹底が図られているか。 なお、車両総重量8トン以上又は乗車定員30人以上の自動車を所有していない場合は「○」を記載する。		
(4)	車両総重量8トン以上又は乗車定員30人以上の自動車について、タイヤ脱着作業は、計画的に正しい知識を有する者に実施させているか。なお、対象車両を所有していない場合は「○」を記載する。		
(5)	車両総重量8トン以上の自動車について、自社でタイヤ脱着作業を行った場合には、大型車の車輪脱落事故防止「令和4年度緊急対策」で定めるタイヤ脱着作業管理表等を用い、適切なタイヤ脱着作業の結果を記録しているか。 なお、対象車両を所有していない場合及び自社でタイヤ脱着作業を行っていない場合は「○」を記載する。		
(6)	車両総重量8トン以上又は乗車定員30人以上の自動車について、冬用タイヤへの交換等タイヤの脱着作業を実施した後、50km～100km走行後にトルク・レンチを用いて規定トルクでホイール・ナットの増し締めを実施しているか。 なお、対象車両を所有していない場合は「○」を記載する。		
(7)	車両総重量8トン以上又は乗車定員30人以上の自動車について、日常点検時に、点検ハンマーによる打音、又はインジケータやマーキングを用いた自認により、ホイール・ナット及びホイール・ボルトの緩み等について確認しているか(特に車輪脱落事故の多い左後輪)。 併せて、「ホイール・ナットの脱落及び緩み」や「ホイール・ボルト付近のさび汁痕跡」、「ホイール・ナットから突出しているホイール・ボルトの不揃いの確認」等についても点検を行っているか。 なお、対象車両を所有していない場合は「○」を記載する。		
(8)	車両総重量8トン以上又は乗車定員30人以上の自動車について、ホイール・ボルト、ホイール・ナット及びホイールの錆や汚れの状況を確認し、錆や汚れを除去した上で、必要箇所に潤滑剤を塗布してから組み付けているか。また、錆や汚れの除去が不可能なものは交換しているか。 なお、対象車両を所有していない場合は「○」を記載する。		
(9)	保有する車両総重量8トン以上又は乗車定員30人以上の自動車全てについて、年末年始輸送安全総点検期間中に、ホイール・ナットが規定のトルクで締め付けられているかの確認をし、締め付けトルク不足が発見された場合は、その車両数及び事業所の全車両数を記載する。 なお、対象車両を所有していない場合、又は「ホイール・ナットの緊急点検」を実施済みの場合(年末年始輸送安全総点検期間外の場合も含む)は「○」を記載する。		
(10)	スペアタイヤ取付装置、スペアタイヤの取付状態、ツールボックスの取付部について3ヶ月毎の定期点検を実施しているか。 (車両総重量8トン以上又は乗車定員30人以上の自動車に限る。対象車両を所有していない場合は○を記載。)		
5. 大雪に対する輸送の安全確保の実施状況			
(1)	気象情報(大雪や雪崩、暴風雪等に関する警報・注意報を含む。)や道路における降雪状況等を適時に把握することにより、運行経路の道路情報、道路規制情報、気象情報に基づき、乗務員に適切な指示を行える体制を構築しているか。 なお、降積雪期において降雪地域を運行しない場合は「○」を記載する。		
(2)	冬用タイヤの溝の深さが、タイヤ製作者の推奨する使用限度を超えていないことの確認を行っているか。 なお、降積雪期において降雪地域を運行しない場合は「○」を記載する。		
(3)	大雪及び暴風雪に備え、冬用タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着の徹底等、輸送の安全確保が図られているか。なお、降積雪期において降雪地域を運行しない場合は「○」を記載する。		

※No2(2枚目)に続く

事業所名: _____

点検実施日: _____

No2

1. 点呼の実施、運転者に対する指導監督の実施状況		点検結果	問題点があればその内容と講じた措置等
(1)	点呼の際、運転者の運転免許証の携行及び有効期限の確認を確実に行うとともに、運行経路の指示や、あおり運転の禁止等道路交通法の遵守について、十分な指導・監督を行うなど事故防止対策が図られているか。		
(2)	適性診断結果を活用した指導を行っているか。特に、高齢の運転者に対し、加齢に伴う身体機能の変化の程度に応じた安全な運転方法について指導を行っているか。		
(3)	事故が発生した際は、その事故の実態を確実に把握し、十分な指導・監督を行うなど事故防止対策が図られているか。		
(4)	運転中の携帯電話、スマートフォンの使用禁止について、運転者に対し指導・監督を行っているか。		
(5)	過積載運行等の防止を図っているか。		
(6)	過積載、暴走等を助長するような車両の不正改造（例：不正な二次架装、速度抑制装置の機能の解除、前面ガラス等への装飾板の取付、さし枠の取付、突入防止装置の取外し、基準不適合マフラーの装着等）の防止が徹底されているか。		
(7)	交差点での右左折時をはじめとした歩行者等との事故を防止するため、運転者に対し、以下の事項を徹底しているか。 ・自動車の構造上の特性（視野、死角、内輪差、等）を理解させ、直前、側方、後方などの見えない部分に配慮した運転が必要であることを認識させること。 ・道路には、歩行者や自転車などが通行しており、それぞれの行動を理解し走行時に配慮することにより、事故を回避できることを認識させること。 ・歩道側の植え込みなどにより見通しの悪い交差点では、歩行者や自転車が飛び出してくる可能性が高いことから、一時停止または徐行し、注意して走行することが必要であることを認識させること。		
2. コンテナ輸送における安全対策の実施状況(該当事業者のみ)			
(1)	コンテナの運送開始前に、トレーラの荷台とコンテナを固定する緊締装置のロックを徹底するよう運転者に指導しているか。（コンテナ輸送がない場合は○を記載。）		
(2)	トラクタ・トレーラの構造上の特性と、当該特性及びコンテナ内貨物の状態を踏まえた運転時の適切な運転操作について運転者に指導しているか。（コンテナ輸送がない場合は○を記載。）		
(3)	国際海上コンテナの運送を行う場合には、荷主や取次事業者等、運送の委託者からコンテナ内貨物の重量、品目、梱包、危険物に関する情報を取得し、当該情報を運転者に伝達しているか。（コンテナ輸送がない場合は○を記載。）		
(4)	国際海上コンテナの運送を行う場合には、荷主や取次事業者等、運送の委託者から取得した情報に基づき適切な車両を手配するとともに、当該情報によりあらかじめコンテナに不具合のおそれがあると認められる場合には、当該委託者に連絡し、対応について指示を仰いでいるか。（コンテナ輸送がない場合は○を記載。）		
(5)	国際海上コンテナの運送を行う場合には、コンテナの運送開始前に、重量超過、偏荷重、高重心、コンテナの損傷、内容物の漏れ、その他不具合が生じていないか確認し、これらのおそれがある場合には、事業者に連絡するよう運転者に指導しているか。（コンテナ輸送がない場合は○を記載。）		
3. 自然災害・事故等発生時の乗客等の安全確保のための通報・連絡・指示体制の整備・構築状況			
(1)	自然災害・事故・事件等発生時（テロ発生時を除く。）における対応措置（連絡通報体制、避難誘導体制等）を整備・構築し、これらが機能するよう、実践的な訓練を実施しているか。		
(2)	自然災害の発生に備えて、営業所や車庫、車両等の安全確保のための措置を講じているか。		
(3)	危険物等運搬車両については、緊急連絡カード（イエローカード）の携行その他必要事項について規定されているか。（該当事業者のみ）		
(4)	「自動車運送事業者等用緊急時対応マニュアル」にある連絡対象となる事故・事件が発生した場合、当該マニュアルに従い、速やかに各地方運輸支局等緊急連絡担当先へ連絡できる体制を整えているか。		
4. テロ防止のための警戒体制の整備状況、テロ発生時の通報・連絡・指示体制の整備状況及びテロ発生を想定した訓練の実施状況			
(1)	始業・終業時等における車内の点検及び営業所・車庫内外の巡回が徹底して実施されているか。		
(2)	不審な情報の入手及び不審な宅配便等貨物を発見した場合の警察への連絡等適切に対応できる体制が整っているか。		
5. 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインの遵守状況、新型インフルエンザ対応マニュアル、事業継続計画の策定状況、対策に必要な物資等の備蓄状況及び職場における感染防止対策の周知・徹底状況などの感染症対策の実施状況			
(1)	新型コロナウイルス感染症に関する業種別の感染拡大予防ガイドラインを踏まえた、対策の着実な実施に努めているか。		
(2)	インフルエンザ等の流行に備え、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく事業継続計画、または対応マニュアルが策定されているか。		

総点検期間中に経営トップ等の幹部が現場視察を実施した回数	回
------------------------------	---

(注)「点検結果」欄には○(良好)、×(改善を要する)により記入すること(該当しない場合は空欄とする)。
 提出先 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1丁目18-8 (公社)福岡県トラック協会 業務1課 TEL092(451)7845 FAX092(451)7964
 提出期限 令和5年1月17日(火) ※FAXによる提出も可

(公社) 福岡県トラック協会 業務二課 行
FAX : 092-451-7964

福ト協受付印欄

陸運事業者のための安全マネジメント研修 参加申込書

- 開催日時 令和5年1月17日(火) 13時30分~16時30分
- 開催場所 リファレンス駅東ビル 3階「H-2会議室」
 福岡市博多区博多駅東1丁目16-14

会社名・営業所名	※ <u>楷書ではっきりと書いてください。</u>
所属支部	福岡 ・ 北九州 ・ 筑豊 ・ 筑後
参加者氏名	※ <u>楷書ではっきりと書いてください。</u>
電話番号	() —
FAX番号	() —

※参加申込受付後、福ト協受付印を押印して、ご記入いただいた FAX 番号に返送しますので、当日ご持参ください。

※ご記入いただいた情報は、本研修開催運営の目的以外には使用いたしません。

～ 申込期限：12月28日(水)まで ～

(公社) 福岡県トラック協会 業務二課 行

FAX : 092-451-7964

福ト協受付印欄

「標準的な運賃」活用セミナー 参加申込書

- 開催日時 令和5年1月24日(火) 13時30分～17時00分
- 開催場所 リファレンス駅東ビル3階「H-2」
福岡市博多区博多駅東1丁目16-14

会社名・営業所名	
所属支部	福岡 ・ 北九州 ・ 筑豊 ・ 筑後
参加者氏名	
電話番号	() —
FAX番号	() —

※参加申込受付後、福ト協受付印を押印して、ご記入いただいた FAX 番号に返送しますので、当日ご持参ください。

※ご記入いただいた情報は、本セミナー開催運営の目的以外には使用いたしません。

～ 申込期限：1月13日(金)まで ～

大分港を発着する定期RORO船航路の利用促進セミナーを開催します

大分県では、平成28年度に策定した「九州の東の玄関口としての拠点化戦略」に基づき、大分港大在地区の物流拠点化に向けた取組を行っており、この一環として、経済的で環境に優しい輸送手段であるRORO（ローロー）船定期航路の利用を促進しています。

この度、モーダルシフトの基本的な考え方やRORO船の概要、具体的な運航情報等について、荷主企業や物流関係者の皆様を対象としたセミナーを開催します。

セミナーでは大分県のRORO船利用助成金制度の詳細も紹介します。国の物流施策や大分港の情報収集の場として、また、物流オペレーションの選択肢を検討するきっかけとして、是非、お気軽にご来場ください。

◆ 日時・場所

開催日	開催時間	会場名	会場住所
令和5年1月19日(木)	10時～12時	福岡商工会議所ビル	福岡市博多区博多駅前2-9-28

◆ 内容

- ① 大分港を発着する定期RORO船航路と県の施策等について
- ② 静岡県の実績（静岡県）
- ③ 和歌山県の実績（和歌山県）
- ④ RORO船定期航路の提供サービスについて（各船会社）
 - ・ 商船三井フェリー（株） 大分－東京－御前崎－博多（3便/週：日本通運との共同運航）
 - ・ 日本通運（株） 大分－東京－御前崎－博多（3便/週：商船三井との共同運航）
 - ・ 川崎近海汽船（株） 大分－清水（5便/週）
- ⑤ 物流の効率化に向けた政府の対応と取組事例（九州運輸局）
- ⑥ その他
 - ・ 名刺交換

◆ 申込期限

令和5年1月6日（金）

※なお、申込みは先着順とし、会場の都合によりお断りする場合があります。

<お申込み・お問合せ先>

大分県土木建築部港湾課 港湾振興班 佐藤、堺田

電話番号：097-506-4617 FAX：097-506-1776

Eメール：sakaida-takeshi@pref.oita.lg.jp

会場のご案内

福岡会場

日時: 令和5年1月19日(木) 10:00~12:00

場所: 福岡商工会議所ビル
404~405会議室

住所: 福岡市博多区博多駅前
2丁目9-28

Tel: 092-441-1116

《アクセス》

博多駅から徒歩10分

地下鉄祇園駅から徒歩5分



* 駐車場は有料となります。
予めご了承ください。

[RORO船利用促進セミナー]参加申込書

下記申込書に必要事項をご記入の上、1月6日(金)までにFAX又はメールでお送りください。
なお、申込みは先着順とし、会場の都合によりお断りする場合があります。

(申込先): 大分県土木建築部港湾課 FAX: 097-506-1776

メールアドレス: sakaida-takeshi@pref.oita.lg.jp

会場	福岡会場		
会社名			
住所	〒		
区分	<input type="checkbox"/> 荷主企業 <input type="checkbox"/> 物流関連事業者 <input type="checkbox"/> 港湾関係事業者 <input type="checkbox"/> その他 (参考までに企業属性をチェックしてください)		
電話番号		FAX番号	
役職名		氏名	
役職名		氏名	
役職名		氏名	

* 会場ではマスクの着用をお願いします。

運輸事業者
の皆様へ

ご存じですか？

ハローワークには 運輸事業者専門の 相談窓口があります！



求人を出しているが
応募が少ない



即戦力になる方を
採用したい



仕事の内容や
事業所をもっと
PRしたい

事業所の採用を
サポートします

事業所のイメージを
伝えたい



未経験でも
意欲のある方を
採用したい



このようなお悩みがある場合は
ぜひハローワークへ
ご相談ください！（裏面へ）



ハローワークの専門窓口 「人材確保・就職支援サービスコーナー」 をご活用ください

当コーナーでは、運輸分野の人材を求める事業主支援と、仕事を希望される方への紹介を行っている専門の窓口で、求人者・求職者の両面から一体的な支援を行っています。



主な支援サービス

① 求人内容の見直し

- 求人の充足に向けて、わかりやすい求人票の作成や求職者が応募しやすい求人条件の設定について、アドバイスを行っています。

② 求職者への情報提供

- ハローワークに求職登録している有資格者等に対し、求人情報を提供し、応募を勧奨しています。

③ 求人情報紙の発行

- 運輸分野の求人情報を特集した情報紙を定期的に発行しています。

④ イベントの開催

- 事業所説明会・見学会・面談会、仕事体験会、セミナーなど、業界の魅力を伝えるイベントを開催しています。求職者に直接アピールできる機会もあります。

※令和4年度 運輸関係イベントの実績：20回実施 R4.11月現在

福岡県内の「人材確保・就職支援サービスコーナー」のあるハローワーク

ハローワーク福岡中央

就職支援サービスコーナー
2階 27番 窓口

TEL：092-687-4467

福岡市中央区赤坂1-6-19

【管轄エリア】

福岡市中央区、博多区、
城南区、早良区、
南区(那の川1～2丁目)、
糟屋郡(志免町、須恵町、宇美町)

利用時間：8:30～17:15
月～金曜日 ※祝日、年末年始除く

ハローワーク小倉

人材確保・就職支援コーナー
1階 7番 窓口

TEL：093-941-8692

北九州市小倉北区荻崎町1-11

【管轄エリア】

北九州市小倉北区、
小倉南区

利用時間：8:30～17:15
月～金曜日 ※祝日、年末年始除く

ハローワーク久留米

人材確保・就職支援コーナー
1階

TEL：0942-90-0010

久留米市諏訪野町2401

【管轄エリア】

久留米市(城島町を除く)、
小都市、うきは市、三井郡

利用時間：8:30～17:15
月～金曜日 ※祝日、年末年始除く

ハローワーク飯塚

人材確保・就職支援コーナー
1階

TEL：0948-24-8635

飯塚市芳雄町12-1

【管轄エリア】

飯塚市、嘉麻市、嘉穂郡

利用時間：9:00～17:15
月～金曜日 ※祝日、年末年始除く

上記以外のエリアの場合は、事業所管轄のハローワークへお問い合わせください。

8Lエンジン搭載のQuonが
更なる生産性を実現

Quon
人を想い、先を駆ける。



UDトラックス公式ホームページで
Quon8L エンジン搭載車をお確かめください。



UD
UD TRUCKS

UDトラックス株式会社 九州支社

福岡地域営業部：福岡市東区多の津1-39-4	TEL 092-629-1124
北九州地域営業部：北九州市小倉北区西港町17-1	TEL 093-581-2305
佐賀久留米営業部：久留米市宮ノ陣町若松1-8	TEL 0942-38-2002

ISUZU

★★★★★
New Five Star
GIGA

ドライバー不足への対応、コンプライアンスの遵守など、
輸送ビジネスを取り巻く課題は、多岐にわたっています。
お客様の課題解決に貢献するために、
経済性/快適性/安全性/積載性/安定稼働、
いすゞが期待されている、この5つの主要性能で
お客様にとっての価値をさらに磨きあげました。
—— ニューファイブスター-GIGA
お客様のビジネスへ、物流の未来へ、大きく貢献します。



カーボンニュートラル社会の実現に向け、
天然ガス自動車もご用意しています。

いすゞ自動車九州株式会社

〒812-0055 福岡県福岡市東区東浜1-10-85
Tel:092-641-7711 Fax:092-641-7744

トラックと物流ビジネスに関することは、すべてプロフェッショナルパートナー ISUZU へ、いすゞ自動車(株)お客様相談センター 0120-119-113 9:00~12:00、13:00~17:00 月曜~金曜(除く所定の休日) <https://www.isuzu.co.jp> シートベルトをしめ、スピードを控えた安全運転を、点検・整備をしっかりとしましょう。



信号を
守ろう!

《公益》福岡県トラック協会・福岡県警察

走るほどに、使うほどに、三菱ふそうの真価。



www.mitsubishi-fuso.com

三菱ふそうトラック・バス株式会社 九州ふそう

福岡市東区箱崎ふ頭5-4-17 TEL:092-641-8186

人と、社会と、その先へ。



HINO
PROFIA



HINO
RANGER



HINO
DUTRO



九州日野自動車株式会社

福岡市東区みなと香椎3-7-2

TEL:092-518-1371 FAX:092-518-1375

運行管理者国家試験対策テキスト

【貨物自動車運送事業編】

過去の問題の解説と
実践模擬問題

定価2,640円(税込)

令和4年版

自動車六法

定価7,700円(税込)

(株)輸送文研社 <柏林書房>

TEL.03-3861-0291(代) FAX.03-3861-0295



10月9日は

「トラックの日」

編集・発行:公益社団法人 福岡県トラック協会

TEL(092)451-7878(代表)

FAX(092)472-6439・(092)451-7964

ホームページ <https://hearty.or.jp/>

総務局・総務部

総務課: 092-451-7841

総務局・経理部

経理課: 092-451-7844

事業局・業務部

業務一課・二課:

092-451-7845

福岡県適正化事業実施機関
(輸送相談窓口)

092-451-7846

千早分室

092-671-0338

(FAX:092-672-4778)